

養豚あれこれ



養豚のしくみ

豚は、生まれたときの体重が約1.5kgで、160~180日間で体重105kgまで育てて出荷します。

子豚は生まれてから5週間は、母豚のお乳を飲んで育ちます。

その後、母豚と離して、子豚たちだけで、エサを食べて大きくなります。

母豚は妊娠期間が約114日で、1度に10頭ぐらい子豚を産み、1年に2度お産をします。



豚のエサ

豚のエサは、親豚、子豚、肥育豚(肉になる豚)それぞれちがいます。

出荷する豚は、はやく大きくなるように調整したエサを食べています。

エサには、トウモロコシや麦などの穀物や、油かすや魚粉、カルシウムなど栄養バランスを考えたものが入っています。



エコフィード

豚のエサの材料は、ほとんど外国から輸入したものです。

しかし、日本では、お弁当や給食など、売れなかつたり、残された食べ物がたくさん捨てられています。

それらを、集めて乾燥などの処理をして豚のエサにしたものが、エコフィードとして使われています。



お弁当、給食



エコフィード

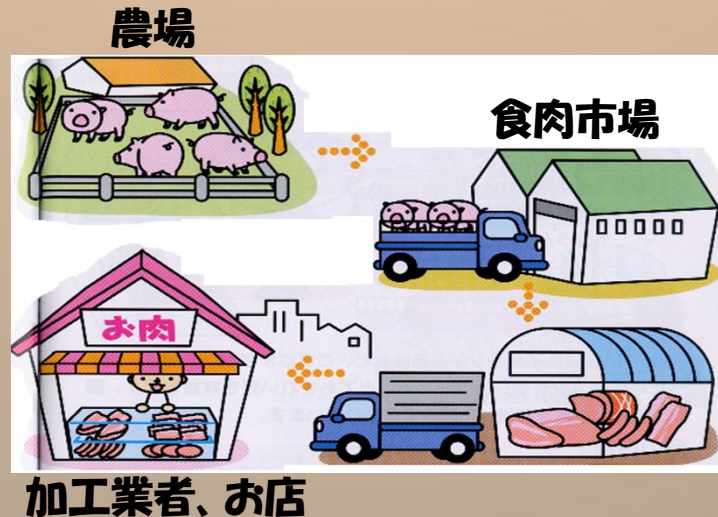


豚が食べる



豚肉が届くまで

体重105kg以上に育った豚は、食肉市場に出荷します。
 食肉市場で、と畜をし、「枝肉」という状態にして、重さや脂肪の付き方で
 ランクが付けられ、肉を買う人達が「セリ」を行い、肉の値段が決められます。
 加工業者やお店が買った豚肉の多くが、そのままお店に並びますが、一部は
 ハムやソーセージに加工してからお店に並びます。



豚肉の飼養状況 H21

○養豚農家戸数

全国	山口県
6,000戸	20戸



○豚の頭数

全国
9,515,000頭
 (1戸当たりの頭数 **1,585頭**)

山口県
23,139頭
 (1戸当たり頭数 **1,157頭**)